

沖縄 貧困率が全国最悪



食事をする子どもに言葉をかける西銘宜彦さん＝2日、沖縄県沖縄市、岩崎生之助撮影

無料の食堂 甘えじゃない

米軍属による女性殺害事件が起き、基地負担の軽減を求める声が高まる。そんな参院選沖縄選挙区（改選数1）で、候補者が「子ども貧困」の訴えにも力を込めている。全国的にみても深刻な状況に、政治に向けられる思いは切実だ。

2日夜、沖縄市の「ゆがふう教会」。礼拝堂の脇のテーブルに、おにぎりや焼きそば、サラダが並んだ。笑顔ではおぼる子どもたち

に交じり、作業服姿の男性（45）も料理を口に運んだ。教会が1月から始めた「子どもサロン」で、経済的理由などから満足に食事ができない子にスタッフが料理を作る。農家が食材を持ち寄り、中には米軍関係者からの支援もある。

男性は数年前に妻と離婚し、建築の仕事しながら小中学生3人の子を育てる。父子家庭になったころは仕事も少なく、自宅のガ

スを代金が払えずに止められた。冷水のシャワー。つらさを紛らすため、子どもたちと誰が早く慣れるかを競うゲームにして、体を洗った。食べ物もなく、子どもは知人の家を泊まり歩いた。「この教会は、本当にありがたい」

候補者も訴え

2014年、厚生労働省は18歳未満の子どもの6人に1人が「貧困」の状態にあると発表した。沖縄県が今年公表した県内の割合は3割近くに達した。貧困問題に詳しい山形大の戸室健作准教授の研究によると、沖縄の子どもの貧困率は全国で最も高い。

「大臣を拝命し、すぐ子どもの貧困問題に着手しました」。3日、自民現職の島尻安伊子氏（51）が北谷町

- 沖縄選挙区の候補者（届け出順）
- 金城 竜郎 52 幸福実現党員 諸新
- 島尻安伊子 51 沖縄北方相 自現 囧
- 伊波 洋一 64 元宜野湾市長 無新

の団地で声を張り上げた。沖縄・北方担当相でもある島尻氏は、沖縄の子どもの貧困対策のため、今年度10億円の予算を組んだことをアピールした。

同じ日、無所属新顔の伊波洋一氏（64）は那覇市の住宅街を回った。訴えの中心は米軍普天間飛行場の移設問題だが、「宜野湾市長として10年前から貧困問題に取り組んできた」と子ども貧困にも触れた。給食費や学用品購入の援助拡充を訴えている。

「現場を知って」

しかし、ゆがふう教会に通う男性は「耳を傾ける余裕がない」。投票を頼んでくる知人もいる。「わかった」と答えるが、仕事や家庭のことに追われ、投票所

に向かう気になれないという。それでも「弱い人が少しでも助かることに力を入れてほしい」と願う。

教会の牧師、西銘宜彦さん（62）は先月、街頭で子どもの貧困対策を説く候補者の演説を聞いた。政策集に、無料か格安で食事を提供する「子ども食堂」の促進を掲げた政党もある。西銘さんは関心の高まりを喜びつつ、「もっと早く何とかならなかったのか」と感じる。「親を甘やかせるな」という批判もあるが、西銘さんは支えが必要そうな親子に教会に来るよう声をかけて回る。「支援策があっても気づくことすらできない人もいます。まずは手を差し伸べる。そんな現場を理解してくれる政治家が増えてほしい」（岩崎生之助）